



ユニセフと地球の子どもたち 20

http://www.unicef.or.jp

ペネズエラ

Bolivarian Republic of Venezuela

法律では存在していなかった
幼稚園に通えない子どもたち

南アメリカにあるペネズエラにくらす女の子、マリアちゃん(四歳)は、来年から幼稚園に通う予定です。しかし、ペネズエラでは「出生登録」をされていない子どもたちがたくさんいて、幼稚園に通うために必要な手つづきができてこまっています。マリアちゃんのお母さんのお話を聞いてみよう。



ペネズエラでは、小学校に入るための準備として、子どもたちは一年間、幼稚園に通います。娘のマリアも、次の誕生日で幼稚園に通う年齢になります。一か月ほど前、わたしはマリアをつれて町の役場に行きました。幼稚園に通うためには、役場で手つづきをしなければならぬいからです。しかし、そのときの役場の人のことは、わたしはともかくシヨックを受けました。

わたしも法律の上では「存在していない」というのです。子どもが生まれたときには、すぐに「出生登録」という手つづきをしなければなりません。この登録をしないと、名前や国籍がないことになり、幼稚園に通うための手つづきができないのです。

病院でも治療受けられない

でも、わたしの母



「出生登録」を知らなかった母
法律相談所ができて救いの手

マリア



©UNICEF/Venezuela/Belmonte

幼稚園に通う年齢の子どもとお母さん。
左下は無料の法律相談所の看板



竹森銀河・天如さん姉妹(東京平井西小)

ユニセフと
いつしよに

地球の子どもたち」を読んで、世界の子どもたちの生活を知り、興味を持ち始めたのです。

私たちの生活を知らなくわしく知りたいと思った」というふたり。ユニセフハウス

い」と天如さん。銀河さんは「自分が学校に行けることが幸せなことだと思おうになった。これから、もっといろいろなことを知り、自分ができることは何かを考えていきたい」と話してくれました。

「前よりも水を大切に使うようにした」

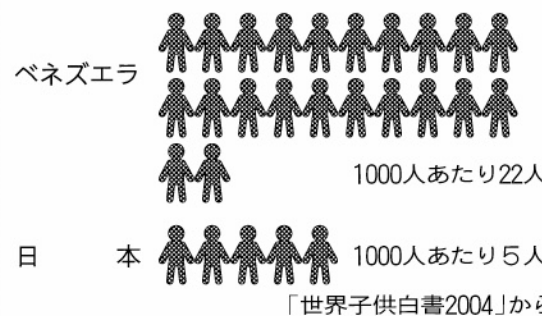
「出生登録」を知らなかった母
法律相談所ができて救いの手

わたしとマリアが出生登録をされていないこと、そのためにマリアが幼稚園に通えないといわれたことを話しました。相談所の人は、真剣に話を聞いてくれました。そして、「大丈夫ですよ」とやさしくいい、これからどうしたらよいかをていねいに教えてくれました。

まだ、わたしが手つづきのためにすることはたくさんありますが、いまは毎日、マリアといっしょに「幼稚園に行つて新しいお友だちがたくさんでできるといいね」と楽しく話しています。

掲載は一週おき。次は一月十二日の予定です

5歳の誕生日をむかえる前に亡くなる子ども



世界のすべての子どもは「権利」をもち、「子どもの権利条約」に守られています。

第七条には「名前・国籍を持つ権利」がうたわれていますが、子どもは生まれる瞬間から権利を持っています。

子どもは生まれる瞬間から権利を持っています。

毎年、五千万人の子どもたちが出生登録されずに生まれてきます。出生登録がされないままでは、学校への入学や、予防接種や病院での治療を受けられなくなったりします。ユニセフはひとりでも多くの子どもが登録されるように活動しています。

もっと
知りたい

ユニセフとユネスコ
国や地域でさまざまな活動を行っています。その活動資金は政府やみなさんから募金です。

ユネスコには各国から分担金
教育の仕事では互いに協力も

ユネスコは「国連児童基金」、ユネスコは「国連教育科学文化機関」といいます(英語名は、み)

ユネスコとユネスコは本部をフランスのパリにおき、教育、科学、文化を通して、世界の平和と安全を守るための活動を行っています。ユネスコは、ユネスコに加盟しているおよそ百九十の国がしはらう分担金で活動しています。

ユネスコとの違いは？

ユネスコとユネスコは名前が似ていますが、活動の内容はちがいます。しかし、教育にかかわることについては、協力して仕事をすることもあります。



©日本ユニセフ協会

